



みんなで応援しよう!



東京オリンピックまで あと607日
(2018年11月25日現在)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

パラオフフェアを開催しました

10月13日(土)から21日(日)まで、道の駅常陸大宮～かわプラザ～で、パラオ共和国の食文化や本市のホストタウンとしての取組を紹介するイベント「パラオフフェア in Hitachiomiya」を開催しました。フェア期間中はパラオの特産品のほか、パラオ×かわプラザ「コラボレーション商品」として、パラオの家庭料理等を再現したパラオ料理やパラオ風ゼラート、スパムおにぎり等の販売を行いました。

フェア最終日特別イベントでは、パラオ政府観光局日本事務所の芝村剛代表をお招きし、パラオの食や観光をテーマにした紹介をしていただきました。



▲パラオ共和国の紹介をする芝村剛代表

また、今年3月まで本市で研修をしていたジュニー・オテイさんにも協力いただいて、本市とパラオの関係などの発表やパラオジャンケン大会を行い、イベントを盛り上げました。

ブースイベントでは、来場者にパラオやオリンピック・パラリンピックへの関心を高めてもらおうと、パラオの観光疑似体験(VR体験)やフェイスペインティング体験、不要になった携帯電話やスマートフォンを回収する「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」のPRを行うとともに、来年開催されるいきいき茨城ゆめ国体のPRも行いました。

さらに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、来場者に日本の選手やパラオの選手を応援するメッセージを特産品である西の内紙に書いていただきました。完成した応援メッセージパネルは、今後のパラオ共和国選手団の事前キャンプやホストタウンPRイベント開催時に、市役所や関連施設に掲示する予定です。



▲来場者の皆さんに書いていただいた応援メッセージ(一部)

柔道着を寄贈

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のパラオ共和国のホストタウン・事前キャンプ地となっている本市では、パラオ共和国の子どもたちへのスポーツ(柔道)の普及・促進等を目的に約1か月間、市民の皆さんからリサイクル柔道着を募集しました。期間中に計20着もの柔道着を寄贈していただき、10月1日のパラオ共和国独立24周年記念式典の際、市長からトミー・E・レメンゲサウ・Jr.大統領にお渡ししました。

ご協力いただきました皆さんに厚く御礼申し上げます。



▲トミー・E・レメンゲサウ・Jr.大統領(左)に柔道着を手渡す三次市長(右)

問い合わせ

政策審議室 企画政策課 東京オリパラ推進室
☎52-1111 (内線310)